

## 県と県民共生センターが 取り組む多角的な 男女共同参画推進

富山県では、平成13年に「富山県民男女共同参画計画」とともに輝く共生プラン」を策定して以来、生活環境部男女参画・ボランティア課を事務局に、庁内の各部署でそれぞれの立場から関係団体などと連携して、男女共同参画社会実現に向けた施策を展開しています。また、平成9年に開館した富山県民共生センター（オープン当初の名称「富山県女性総合センター」、愛称：サンフォルテ）でも、男女共同参画推進の拠点施設として、さまざまな取り組みを推進しています。

## 富山県庁内の各部署が取り組む 「農村女性ビジネス支援事業」 「子育て環境整備支援事業」 「男女共同参画チーフ・ オフィサー（CGEO）設置事業」

富山県農林水産部技術推進課では、農業・農村における男女共同参画の実現を目指して、「農村女性ビジネス支援事業」を展開。農村における女性起業リーダーを育成するための講座の開設、県内の農村在住の女性が取り組む農産加工品や直売所のPRを目的とした「農村女性起業マップ」を作成するなどの事業を推進しています。

商工労働部労働雇用課では、女性にとってより働きやすい環境づくりを目指し、「子育て環境整備支援事業」を手掛けています。主な具体的な取り組みの一つが「子育て環境整備アドバイザー派遣事業」です。経営者の意識改革などを推進するため、専門のアドバイザーを企業に派遣して、情報提供や助言などを行っています。もう一つは「子育て環境整備セミナー事業」で、男女労働者の育児休業取得促進のために、講師を招いて子育てセミナーを開催し、労使双方の意識改革を進めています。生活環境部男女参画・ボランティア課では、企業内の男女共同参画を推進するため、「男女共同参画チーフ・オフィサー（CGEO）設置事業」に取り組んでいます。

男女共同参画チーフ・オフィサー（Chief Gender Equality Officer、以下チーフオフィサー）とは、企業のなかの「男女共同参画推進最高責任者」の意。企業のなかで男女共同参画をトップダウンで推進するため、役員クラスの方に就任を依頼しています。チーフ・オフィサーは、県主催の講演会やニュースレターで情報を得て、社内の意識改革を進める役割を担います。一定水準の成果が認められると「男女共同参画推進事業所」として認定され、合同就職説明会など県の事業でPRされます。チーフ・オフィサーを設置した企業は、平成15年度は20社、「男女共同参画推進事業所」として認定された企業は3社です。県の職員が企業を回って参加を呼びかけるなどの努力が実を結び始め、チーフ・オフィサーの設置は徐々に浸透しつつあります。

## 県民共生センターが取り組む 「男女共生トーク」と 「ボランティア講座」

富山県民共生センターでは、できるだけ県民の活動を支える機能を果たしたいとの思いから、可能な限り県民の自発性を促すよう事業に取り組んでいます。

「男女共生トーク」もそのひとつです。男女共同参画の意識啓発を推進し、参加者同士の交流を深めるためのフリートークの場で、公募による実行委員が、企画、運営、当日の進行までのすべてを取り仕切っています。平成15年度からは、センターまではなかなか足を運ぶことのない男性の参加を促すために、各地域でフリートークを行う「出前トーク」（年5回）も開催。参加者の年齢も幅広く、世代や性別を超えた交流の場としての役割を果たしています。

また、センターの事業運営をサポートしてもらうための施設ボランティア（男性）を募集。その資質の向上を図るため、女性問題やセンターにおけるボランティアの意義などについて学ぶ「ボランティア講座」（全5回）も開催しています。現在47名が登録し、新聞のクリッピングや、センター主催事業の受け付け及び撮影、図書室

だより「さん・さんライブラリ」の編集などを行っています。年に一度開催される「サンフォルテフェスティバル」では、サンフォルテボランティアとしてワークショップを運営したり、「ボランティア講座」のカリキュラムの内容について提案を出したりと、徐々に自主的な活動も広がっています。



富山県民共生センター 蟹瀬美和子館長（左）、同大沢幸子事業課長（右）



美しい公園「富岩（ふがん）運河環水公園」が隣接する富山県民共生センター

### ●施設概要

「出会いとふれあいのフロア」「集いと憩いのフロア」「学びと交流のフロア」「生活創造と文化活動のフロア」とフロアごとにテーマを設け、図書室や生活体験実習室、多目的スタジオ、研修室、和室などを設置。

### ●事業例

企画・調査研究事業、情報コーディネート事業、相談・カウンセリング事業、生活創造支援事業、ネットワークづくり支援事業、就業支援事業など。

### ●住所&交通アクセス

富山県富山市湊入船町6-7 富山駅北口より徒歩5分、富山空港より車で約20分、富山ICより車で約20分

### ●問い合わせ

電話 076-432-4500

<http://www.sunforte.or.jp/>

### ●富山県庁の男女共同参画推進事業に関する問い合わせ

富山県男女参画・ボランティア課

電話 076-444-3137

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1712/1712.htm>  
danjosankaku2@pref.toyama.lg.jp



働きたい

# 「男女共同参画チーフ・オフィサー(CGEO)設置事業へ」への参加でネットワークを拡大

富山信用金庫 常勤理事人事部長  
山地清 さん 富山県富山市

## 富山信用金庫のこれまでの活動

明治35年、創業。

平成9年、女性だけの年金推進セクションを立ち上げ、高い業績をあげる。

平成15年、「男女共同参画チーフ・オフィサー(CGEO)設置事業」に参加。



食事会の様子



地域との共存共栄を理念とする富山信用金庫。「安定した採用や正社員の雇用をしなければ、地域も潤わない」(山地さんと正社員の採用にこだわる



女性職員も多数役職についている

## 女性管理職への登用が9.1%と高水準

富山市を中心に31店舗を展開する富山信用金庫は、明治35年に創業以来、地域との共存共栄の創業精神を理念に営業を続け、「とみしん」の名で地域の方々に親しまれています。富山信用金庫では、積極的に女性の管理職への登用を進めており、全職員に対する女性役職者の割合は9.1%。女性の管理職への登用が3.37%（全国45位、平成12年国勢調査）と伸び悩んでいる富山県にあってきわめて高い割合になっています。勤続年数も長く、子育て中や40代50代の女性職員も少なくありません。また、育児休業は100%の女性が取得しています。富山信用金庫常勤理事人事部長の山地清さんはいいます。「当金庫は、就業時間が8時45分から16時45分と全国の信用金庫のなかでも一番短い。だから女性にとっても働きやすいのでは。また、非正規社員を派遣社員の20名だけにし、後はすべて正社員で業務を進めています。正社員が多ければ、それなりに経費もかかりますので、正社員には通信教育や研修などの支援をして、生産性をあげて時間内に業務を終えるようにしています」

## 本音で話し合う機会を作って早期に職員の問題を解決

「職員にやる気を出してもらい、毎日笑顔で働いてもらうためには、本音で話しあっていくことが大切です」(山地さん)  
富山信用金庫では、毎月、誕生月の職員をお昼休みに集めて理事長との食事会を行ったり、山地さん自ら営業店に足を運んで、職員と直接話をする機会を作っています。「そうすると、社員が抱えている問題がわかってきて、早い段階で対応することができます。たとえば、介護を必要とする家族がいることがわかれば、平日に休みを取るように促すこともできますし、社内の人間関係に悩んでいる職員がいれば、問題が深刻になる前に速やかに配置転換などもできるのです。本部に職員を呼んだりアポイントを取っていて

は、職員が構えてしまって、なかなか本音も聞けない。私の方から出向いて、10分でもいいから職員と接触する機会を作るようにしています」  
育児休業を取得する職員についても、一人ひとりと話し合いながら、「育児休業者に対する講習プログラム」を元に、「在宅講習」「職場復帰前講習」「職場復帰直後講習」などを個別に行い、スムーズな職場復帰ができるように配慮しています。

## 女性の潜在能力をもっと開花させたい

職員の働きやすい環境づくりに積極的に取り組む富山信用金庫に、県の職員から「男女共同参画チーフ・オフィサー(CGEO)設置事業」への参加の打診があったのは平成15年のこと。山地さんは、話を聞いてすぐに設置を決めたそうです。「男女共同参画にはすごく関心があったんですよ」山地さんがこう言うのには理由があります。富山信用金庫では、平成9年に立ち上げた、女性ばかり6名ほどの年金推進担当セクションが、高い業績を上げ続けているからです。「目に見える結果も出ていますので、金融機関の仕事に興味があって、一生懸命に取り組んでくれる職員には、男女関係なく、通信教育や自己啓発に関する支援も行って、どんどん役職についてもらっています。今後も女性の潜在能力をもっともっと開花させて、人材活用をしていくためには、やはり私自身が資質を高めることが必要ですし、ほかの会社が男女共同参画に関してどのように取り組んでいるかなどの情報も少しでも多く知りたいと思っています」  
チーフ・オフィサーの設置からまもなく1年。山地さんは開催された2回の講座に出席し、ニュース・レターにも目を通しています。まだ目に見える結果は出ていないものの、講座で知り合った他業種の方々とネットワークができ、さまざまな知識を深めているそうです。